

春風に今年も夢を乗せて。

彦山川河川敷に鯉のぼり掲揚

ひこさん川ゆめの会主催の鯉のぼり掲揚が4月20日に彦山川河川敷で行われました。毎年「鯉のぼり掲揚の日」は晴れる「言われのとおり、今年は雲一つないさわやかな快晴。ゆめの会と上野焼協同組合42人のボランティアがロープに色とりどりの鯉100匹を丁寧に丁寧につなげた後、上野橋から4方向に張ったワイヤにはわせ、青空に向かって解き放ちました。



町長日誌

▼福智町には三つの温泉施設（ふじ湯・日王の湯・白糸の湯）があり、いずれも高評価を得ているようだ。遠くは、北九州市や福岡市から足を運んでいただき、入場者に占める割合もかなり高いとのこと。実際、それぞれの駐車場で、北九州ナンバー、福岡ナンバーの車を目にすることが多い。その地域にも、従来からの温泉施設に加え、新しい施設が次々にオープンしていると聞いてはいるのだが……。多少、時間やガソリン代がかかっても、泉質が良く寛げる温泉に行ってみたが、そして心身をいやしたい

—— こうした思いが、わが町の温泉に足を向けさせているのかも知れない。事実、そのような声を、直接耳にしたことがある。さすがに、原油価格の高騰に伴いガソリン料金が急上昇した時期には、遠方より来場するお客さんの数は減ったそうだ▼少し前置きが長くなったが、その施設で頭の痛い問題があるという。事情を聞いてみると、お客さんの中に入浴マナーの悪い人がいて、他のお客さんとの間でトラブルになるケースが時々あるとのこと。楽しいひとときを過ごすという思いで来場したのに、一瞬にして不愉快にさせてしまう。いくら施設側が快適な環境づくりに努めても、これでは評判を落としかねない▼三つの温泉は、福智町の貴重な観光資源であり、町民の憩いの場でもある。利用者の誰もが、心豊かになれる「桃源郷」であってほしいと願うのは、わたしばかりではあるまい。

浦田 弘二